



新城 哲 議員

伊武部希望ヶ丘からの陳情 7号について

質 この土地が第三者へ売却される可能性も高まりつつある中で、地域としての公共利用ができなくなることへの懸念が出ています。売却前に何らかの手当を講じる考えはあるのか伺う。

答 総務課長（宮平 寛）

県内の不動産を通して売りに出されている状況です。所有者へは鑑定価格を提示していますので、その金額にて売却の意向があれば調整していきたいと考えています。それ以外にも用地交換等、何かしらの策がないか継続して考えていきたいと思っています。

提 この土地は地域コミュニティの象徴であり、公共的価値の高い資源です。財政的な制約は理解しつつも、陳情の採択という民意を尊重し、

再度購入検討をお願いします。

施政方針、子育て支援の充実 について

質 今後さらに支援を拡充していくための具体的な計画や予算措置があるのか伺う。

答 健康保険課長（當山 香織）

基本的には現在の支援事業を維持していきまが、ニーズ調査等によって困りごとを把握し、事業化の可能性を検討することとなります。また、第3期子ども・子育て支援事業計画が昨年度末に策定されています。その計画に沿って取り組みを進めていきます。

施政方針、学校教育の充実 について

質 小学校教育において「わくわく学び、人・地域・自然・未来へつなげる教育を具体的にどのような授業や活動で展開しているのか伺う。

答 学校教育課長（親泊 誠）

昨年度より村内全小中学校において、「マイプラン学習」という取り組みを行っています。教師があらかじめ準備

した学習環境の中で、子供たちが自分で学習の計画を立てて、タブレット端末等を活用し、学習を進め、自分の課題に真剣に向き合う姿や友達と教え合う姿はわくわく感にあふれており、学び方を学ぶことは一人一人の未来につながる取り組みとなっています。

施政方針、健康づくりの促進 について

質 生活習慣病対策として、具体的にどのような施策を実施しているのか伺う。

答 健康保険課長（當山 香織）

生活習慣病対策の取り組みとして、基本的には特定健診やがん検診の受診勧奨と保健指導を実施し、本村の主要死因である「がん」や「循環器病」などの生活習慣病は生活習慣の改善により予防が可能であるため、飲酒や喫煙等の生活習慣への指導を行い、治療が必要な方には医療機関への受診を促しています。

施政方針、農業の振興に ついて

質 これからの施策が総合的に農家取得の向上につながるよう、行政

としてのどのような支援体制を整えているのか伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農業を取り巻く環境は世界情勢や円安による物価高騰など、厳しい状況下にあることから農業経営の負担軽減・安定化に向けた取り組みとして、農業資材等購入補助、農業ハウス設置及び修繕に関する補助、飼料購入補助、農業経営アドバイザーの配置など、各種支援を行っています。

施政方針、自然環境の保全・ 創出について

質 豪雨や災害時や台風の頻発を踏まえ、排水能力の強化や河川の氾濫防止に向けた中長期的な整備計画があれば伺う。

答 建設課長（當山 国博）

村内の45河川の排水能力については、令和4年度に河川等維持管理計画で現状調査をしています。排水能力については把握しています。それを基に過去の氾濫箇所や地域の意向、補助事業の採択時期を考慮して整備を進めています。

OISTの件について

質 沖縄科学技術大学院大学はスタートアップ新興企業を支援するインキュベーター施設2棟を学内に整備し、6月から供用開始をする。学長は施設を沖縄のグローバルな技術革新拠点に変革するためのプラットフォームだ。科学と社会をつなぐ架け橋になると挨拶されています。村にとってのメリット等を含めて、この事業を恩納村はどう捉えているのか。

答 定住促進室長（大城 保洋）

メリットとしては、今回の施設整備によりOIST及びスタートアップ企業等、さらなる連携及び推進を図ることにより、産業育成、産業創出による恩納村、沖縄県の産業振興にもつながるものと考えており、今後の地域の発展に向けて期待しています。

宇加地区からの陳情について

質 去る2月3日、宇加地区からの陳情で、アクセス道路のお話が村長室でありました。この問題は当初から軍用地を挟んで、読谷村との関わりもあって、ハードルが高い事業推進であることは、双方の認識

の中で、村がかなり汗をかかなければなかなか前に進まないという事業である。村はどのような取り組みでやっているのか。

答 企画課長（喜久山 隆）

読谷村をまたぐというところで、結構ハードルの高い事業になると考えています。また軍用地内を通るといったところの課題もありまして、十分に読谷村と合意形成を図る必要があると考えています。県道6号線沿いにある塩屋区等との合意形成も必須と考えていますので、今後7月、8月に予定しています行政懇談会等で意見交換をしていきたいと考えています。

質 この問題は村長が相当苦労されないかと一歩も二歩も出ない。陳情を受けて、どのようなスタンスで動こうとしているのか。

答 村長（長浜 善巳）

周辺地域との合意形成、読谷村を含めて、周辺住民を巻き込んで一体となった取り組みが必要だと考えています。



喜納 正誠 議員

漁業振興と海ぶどう施設に ついて

質 本村の水産業の柱となる海藻養殖は全ての品目で拠点産地の認定を受けており、品質の高さから県内外でも評価が高く、恩納村ブランドの地位を確立しているのが現状。また新たに海ぶどう養殖池の利用料補助、老朽化した真栄田漁港海ぶどう施設等の修繕に対する補助を行う拠点産地の安定生産、安定供給の強化を図るということをやっています。どのような御認識でこの事業を推進しようと思われているのか。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

海ぶどうは平成17年度に拠点産地品目に認定され、近年は生育不良や養殖施設の経年劣化に伴う損傷などの原因により、生産量は、年々減少傾向にあります。安定生産を図るための取